

# Jネットは人の輪

昭島市 佐藤光子（東城町二丁目出身）

六月の末、高田高校の東京同窓会が開かれた。その同窓会に、評議会委員として「文芸たかだ」の編集長吉越泰雄氏が高田から出席。画家でも知られた故植木賢三氏を通して、Jネット運営委員の内藤實氏と吉越氏は懇意だ。その吉越氏が三人で会いたいという。



内藤氏（左）と吉川英明氏

私は、帰省するたびに吉越氏にお世話になっていたので、その返礼の意味もあって、私の家に近い青梅方面に二人を案内することになった。ただし、私と内藤氏とは、五十年ほど前、附属中学で私の方が一級下だったという縁はあるものの、殆ど初対面である。

そんな仲だったが、郷里が同じだというだけで何の違和感もなく、私の運転で吉川英治記念館、川合玉堂美術館、ままごと屋、吉川英治夫人の経営する紅梅苑と巡った。

雨のため、いつになく吉川英治記念館はひっそりとしていた。ロビーで腰をかけ、一枚のガラスを通して、庭園の有名な椎の木や紫陽花などの花々を眺めながらも、あれこれと話は尽きない。

と、「あ、英明氏だ」と内藤氏。吉川英治のご長男英明氏とは、ゴルフ友達のこと。

都心に住む館長の英明氏は、その日偶

然訪ねてこられたようだ。内藤氏は英明氏としばし歓談。日立で活躍していた内藤氏の顔の広さには驚くことばかりだ。帰りは私の家で小休止し、その後立川まで送った。家に戻ると内藤氏の帽子が。

「送りましょうか？」と電話で訊くと、「いや、七月のサロンに持ってきてもらえばいいですよ」と。そこで、友達を二人誘って七月のサロンに行く約束となった。

——Jネットは人の輪を広げてくれる。

談笑に忘れられたる夏帽子 光子



内藤氏（左）と吉川英明氏



サロンでのスナップ 中央が佐藤さん